

代表質問

区政をきく

(代表質問・一般質問)

平成29年第1回定例会では、区政全般について、5名の議員が代表質問を、9名の議員が一般質問を行いました。
以下、概要をお知らせします。



平成29年施政方針について



鈴木 真澄 議員 (自・未)

①観光大使に任命したサンリオキャラクターのシナモールにどう活躍してもらうのか。②外国人観光客を誘致するための情報発信のあり方は、

③水辺事業の推進にあたり、船からの景観という視点を加えては。④まち歩き観光をどう充実させていくのか。⑤東京オリンピック・パラリンピックについて⑥各国のホスピタリティハウス誘致に向けた検討を。⑦選手団の事前キャンプの誘致を進めては。⑧児童相談所設置に向けた区のスケジュールは。⑨医療的ケアを必要とする子どもの保育について、どう検討しているのか。⑩子どもの貧困について⑪2年生と9年生を対象に行った調査では、生活状況はどうだったのか。⑫子ども食堂をどう推進していくのか。⑬コミュニケーション・スクールのコーディネートについて⑭教員などのように連携しているのか。⑮すまいるスクールに参加し、事業運営を担っては、

⑯東芝病院の売却について、今後の見直しは。⑰地域防災計画を見直す際、受援計画等の検討が必要では。⑱災害時における医師や病院との連携の現状は。⑲木造住宅密集地域の火災対策の方向性は。⑳無電柱化に対する考えは。㉑地域包括ケアについて㉒地域の方の理解をさらに深めていく必要があるのでは。㉓医療から介護へどうつなげていくのか。㉔認知症に対する正しい理解を、どのようにして地域に啓発していくのか。㉕医療連携型の認知症カフェとは。㉖介護する家族の就労継続への支援に効果的な介護サービスのあり方は。㉗介護サービスの支出が増加していく中、今後の介護保険財政をどう考えているのか。

①様々なPRやイベントで活用する。②3D映像等の先端技術やSNSを活用し、効果的に発信していく。③目黒川の4つの橋のライトアップは好評をいただいております。今後も景観の視点を加えて検討していく。④新たな観光資源を発掘し、さらに拡充していく。⑤区内に大使館のある国や交流都市等の誘致に取り組む。⑥ブラジルのブラインドサッカーについて、覚書の調印に向け調整している。子ども未来部長 ⑦国は5年間を目標に整備を支援するとしており、区は心理職の採用や職員の派遣研修等を進めていく。⑧医療・療育機関と連携し、集団保育での受け入れを検討していく。⑨アヒと親家庭の4割が、大学等への進学は経済的に厳しいと回答している。⑩開設に向けた

ネットワークを構築していく。教育長 ⑪休み時間や放課後を活用し、スムーズな連携が図られている。⑫すまいるスクール運営協議会にコーディネーターが参加している。健康推進部長 ⑬東芝本社からは、売却について正式な発表はされていない。災害対策担当部長 ⑭受援体制を明確にすることは重要なことと考えている。⑮医療救護所への医師の派遣等、幅広い連携が定められている。⑯不燃化特区の支援対象拡大を図る。⑰都の財政的・技術的支援の動きに注視していく。福祉部長 ⑱各地区でワークショップを開催し、理解を深めていく。⑲高齢者情報を一元管理し、多職種が情報共有できるようシステム開発する。⑳品川ぐるみ認知症ファイドの配布やホームページへの掲載等で周知する。㉑地域交流に加え、介護や治療についての情報提供や、医療的な相談や講座を開催する。㉒職場の理解が重要なため、区内企業に対する介護保険制度の周知方法を検討していく。㉓保険料負担に配慮し、収支バランスを見きわめる。

大井町のまちづくりについて ①JR広町社宅跡地のまちづくりを中心に、大井町周辺全体のまちづくりビジョンを策定しては。②JR東日本との今後の検討スケジュールは。都市環境部長 ③都およびJRと調整し、具体的なまちづくり方針を策定する。④平成32年以降に本格的な着工をめざすと聞いている。

道路の無電柱化について ①区道の無電柱化に対する都の支援とは。②都の助成制度の積極的な活用に向けた(仮称)品川区無電柱化推進計画を早期に策定しては。



たけうち忍 議員 (公明)

東京都の新たな施策の積極的な活用について

①無電柱化など都が打ち出した新規事業について、区政との関連等を確認し、積極的な活用を要望するが、見解を。企画部長 ①都の施策には区の重点課題に対応するものも多いことから、施策の推進に向け積極的な活用を努める。

防災・減災対策の強化について ①系魚川市の大規模火災を教訓にした今後の対策は。②まちかど消火栓について③町会・自治会への配備の検討状況等は。④しながわ防災体験館に装置を配備し、普及啓発を。⑤ブロック塀の倒壊対策について⑥防災緑化助成制度の周知徹底を。⑦危険なプロットの撤去等の指導を。

子ども未来部長 ①年収30万円以下の世帯は見直しによる効果が及ばないことから、引き続き就学支援が求められると考えている。②奨学金運営委員会等で検討していく。

防災・減災対策の強化について ①系魚川市の大規模火災を教訓にした今後の対策は。②まちかど消火栓について③町会・自治会への配備の検討状況等は。④しながわ防災体験館に装置を配備し、普及啓発を。⑤ブロック塀の倒壊対策について⑥防災緑化助成制度の周知徹底を。⑦危険なプロットの撤去等の指導を。

子ども未来部長 ①平成30年4月での解消は厳しい状況だ。②3年間は限定的に予算化される都の補助制度を活用する。期間経過後は、利用状況等を勘案し、判断する。健康推進部長 ③新たな都の制度の詳細を確認の上、助成制度のあり方を考えていく。④区民福祉の向上に活用する。

地域猫のボランティアへの支援について ①地域猫ボランティアへの腕章等の配布について、進捗状況は。②公園での餌やりについて、適切な看板設置を。健康推進部長 ③28年度中に腕章を配布する。④誤解を与えないような看板の設置や適正な管理に努めていく。